

授業科目 社会福祉援助技術現場実習ⅡB

【担当教員名】 丸田秋男 塩見謙彦 豊田保 伊東正裕 横山豊治 松井奈美 松山茂樹	対象学年 開講時期 単位数	3 前期・後期 6	対象学科 必修・選択 時間数	社会 必修 210（事前・事後指導各15、現場実習180）
---	---------------------	-----------------	----------------------	-------------------------------------

<概要>

本授業は、社会福祉現場実習及び社会福祉実習指導（実習の前後の指導）から構成する。現場実習は、原則として8月から9月にかけて4週間の配属実習を行う。実習指導は前期に事前指導を、後期に事後指導を行うが、基本的には分野別（行政・児童・障害・高齢）のグループにおける個別指導を通して、福祉専門職（社会福祉士）として求められる資質、技能、倫理等の習得を図る。また、後期の事後指導においては、実習記録に基づく実習報告書を作成するとともに、実習施設等と連携した報告会等を開催し、自己に求められる課題の明確化とその対応方法等についての理解を深める。

<学習目標>

1. 社会福祉現場実習の意義及び現場実習を通して習得すべき専門知識・技術、倫理及び関連知識等を正しく理解する。
2. 社会福祉援助技術の講義や演習等で学んだことを踏まえ、福祉専門職（社会福祉士）として必要な専門知識・技術、倫理及び関連知識等を具体的に体得する。
3. 具体的な援助活動等の実践や体験等を理論化し、専門知識・技術、倫理及び関連知識等を体系的に理解する能力を身につける。
4. 実習後においては、実習内容についての達成度を評価し、自己の課題等の解決に向けて具体的に取り組むことのできる能力を身につける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	【前期】		
1	ガイダンス		講義 ○事前指導は、分野別にグループ分けするが、基本的には担当教員による個別指導とする。 ○配属先で必要とされる専門知識・技術等については、分野別に外部講師を招いて効果的に指導を進める。 ○学習内容に応じては、グループ合同での学習方法を取り入れる。
2	グループ別指導①		
3	グループ別指導②		
4	グループ別指導③		
5	グループ別指導④		
6	グループ別指導⑤		
7	グループ別指導⑥		
8	グループ別指導⑦		
9	グループ別指導⑧		
10	グループ別指導⑨		
11	グループ別指導⑩		
	【現場実習】 8～9月 配属実習		担当教員による巡回指導を行う。
	【後期】		
1	グループ別指導①		○事後指導は、事前指導と同グループとするが、基本的には担当教員による個別指導とする。 ○実習報告会は、実習施設等との連携により効果的な実施に努める。
2	グループ別指導②		
3	グループ別指導③		
4	グループ別指導④		
5	グループ別指導⑤		
6	グループ別指導⑥		
7	グループ別指導⑦		
8	実習報告会①		
9	実習報告会②		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	1. 新・社会福祉施設【現場実習】指導マニュアル		中央法規	1996、¥2136+税
	2. 三訂 社会福祉実習		中央法規	1998、¥2500+税
	3. 社会福祉援助技術現場実習指導・現場実習		ミネルヴァ書房	2002、¥2600+税
その他の資料	現場実習の手引き		新潟医療福祉大学	2002年

【評価方法】	【履修上の留意点】
・事前指導及び事後指導の出席状況、実習先での評価、実習ノート、レポート、実習報告会等を総合的に評価する。	・本実習ⅡBは、社会福祉援助技術現場実習ⅡAの単位取得がなければ履修できないものであり、実習ⅡAと実習ⅡBのいずれの単位を取得しないと、社会福祉士の受験資格は得られないものであること。 ・事前指導及び事後指導は、社会福祉士指定科目「社会福祉援助技術現場実習指導」に該当するものであるため、必ず出席すること。 ・上記の授業計画及び学習内容は、変更される場合もあるので、担当教員の指導によること。